

資料編

「5.3 現地調査について」の補足資料

○方法書本編に掲載していない前事業の現地調査結果

現在、前事業における現地調査結果については分析を進めている段階であり、方法書本編には、現時点で整理した結果の一例を示し、それ以外は資料編に掲載した。今後、準備書の作成に向けて、前事業の調査結果をもとに、事業計画を踏まえた再解析を実施した上で、準備書の取りまとめを行う予定である。

1. 水質

表 1-1 水質（浮遊物質）の調査結果（秋季）

試料採取日：令和4年10月15日（秋季）

項目	分析層	測点①	測点②	測点③	測点④	測点⑤
浮遊物質（SS） mg/L	表層	2	2	<1	2	2
	中層	3	14	1	2	2
	底層	2	3	<1	10	2

※「<1」は1未満を示す。

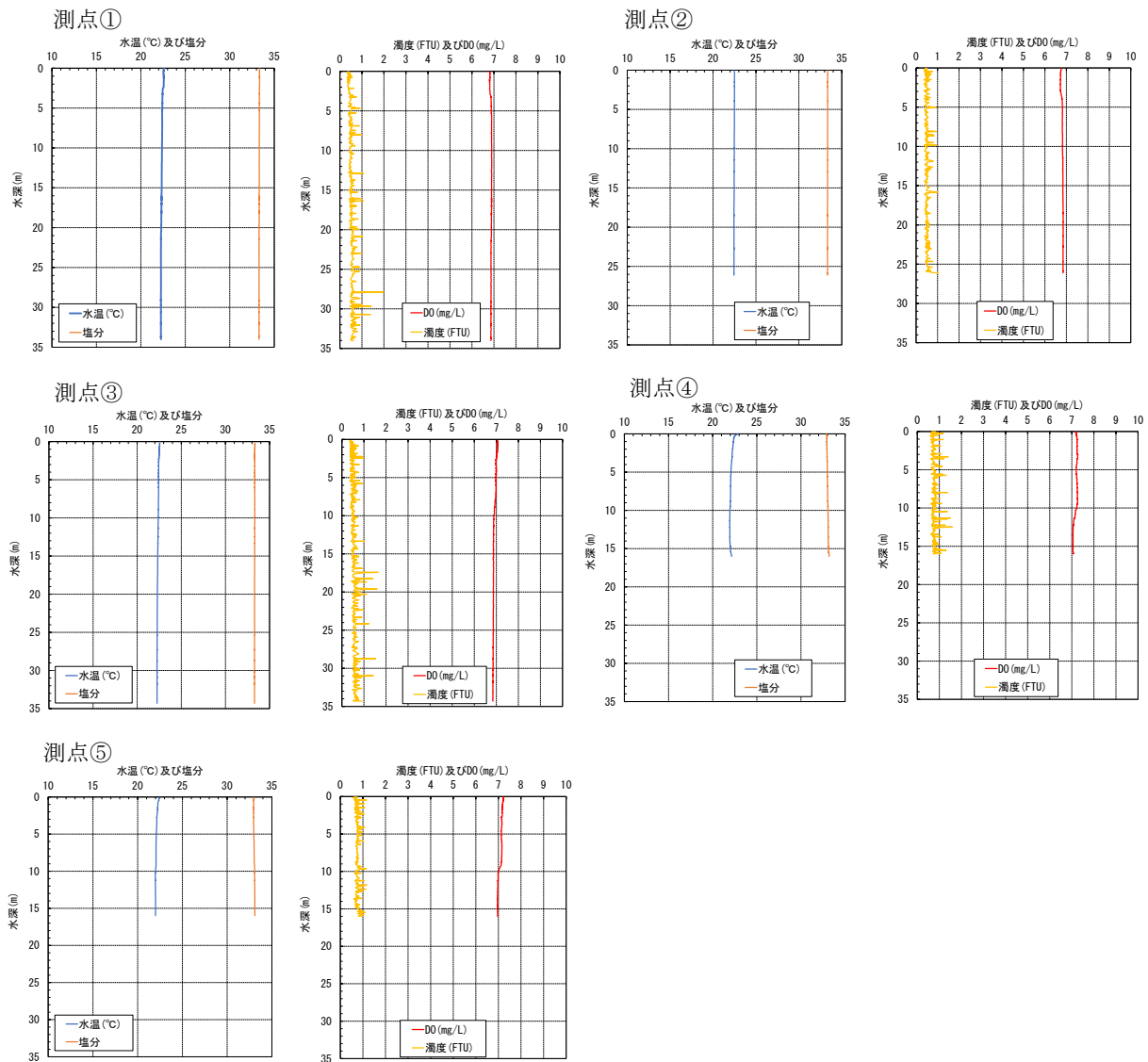


図 1-1 水質（水温、塩分、D0、濁度）の調査結果（秋季）

表 1-2 水質（浮遊物質）の調査結果（冬季）

試料採取日：令和5年1月22日（冬季）

項目	分析層	測点①	測点②	測点③	測点④	測点⑤
浮遊物質（SS） mg/L	表層	<1	1	<1	<1	1
	中層	1	1	<1	<1	<1
	底層	<1	<1	<1	<1	2

※「<1」は1未満を示す。

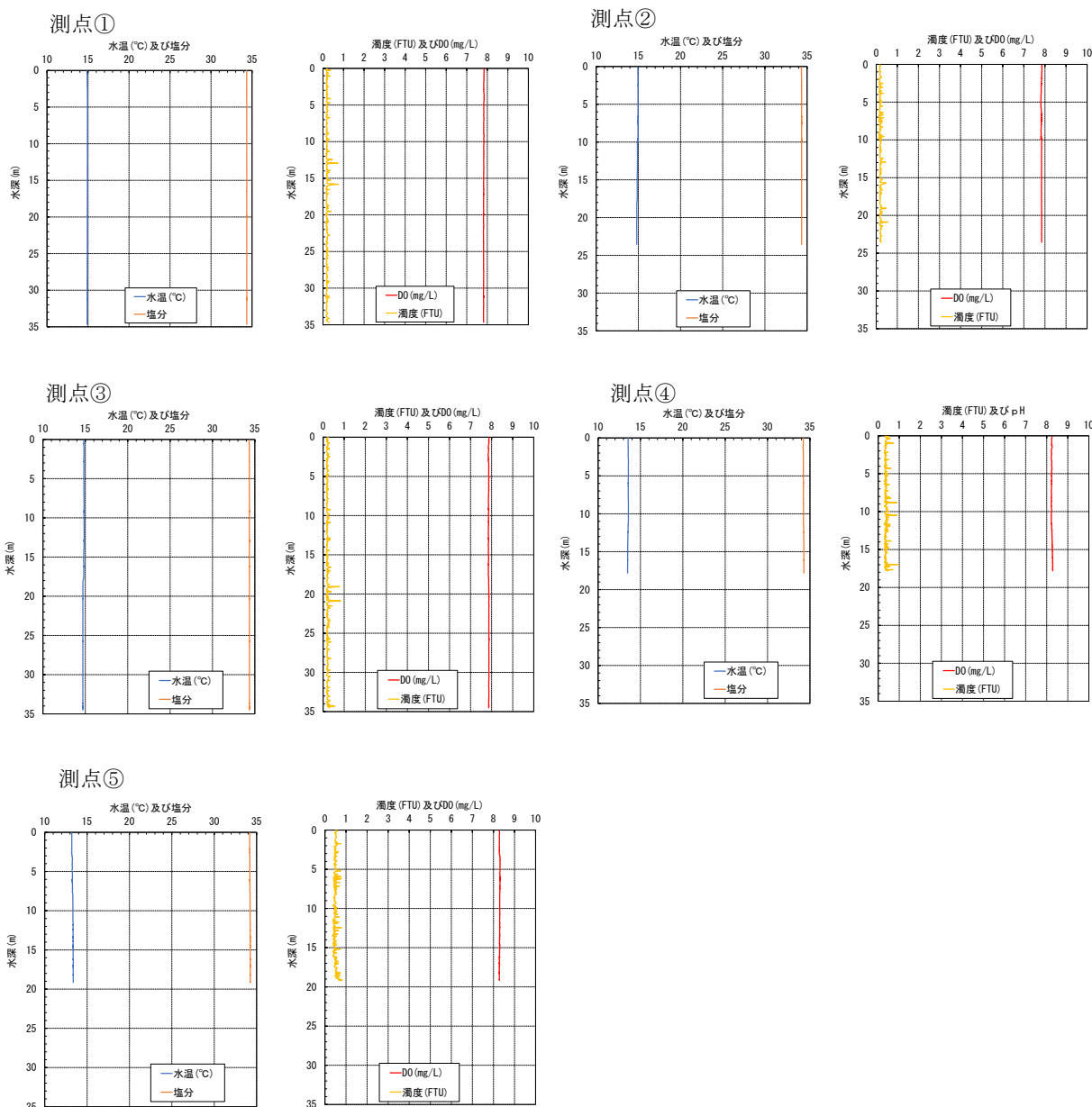


図 1-2 水質（水温、塩分、D0、濁度）の調査結果（冬季）

表 1-3 水質（浮遊物質）の調査結果（春季）

試料採取日：令和5年4月11日（春季）

項目	分析層	測点①	測点②	測点③	測点④	測点⑤
浮遊物質（SS） mg/L	表層	<1	2	<1	2	1
	中層	2	2	<1	2	2
	底層	1	3	2	3	1

※「<1」は1未満を示す。

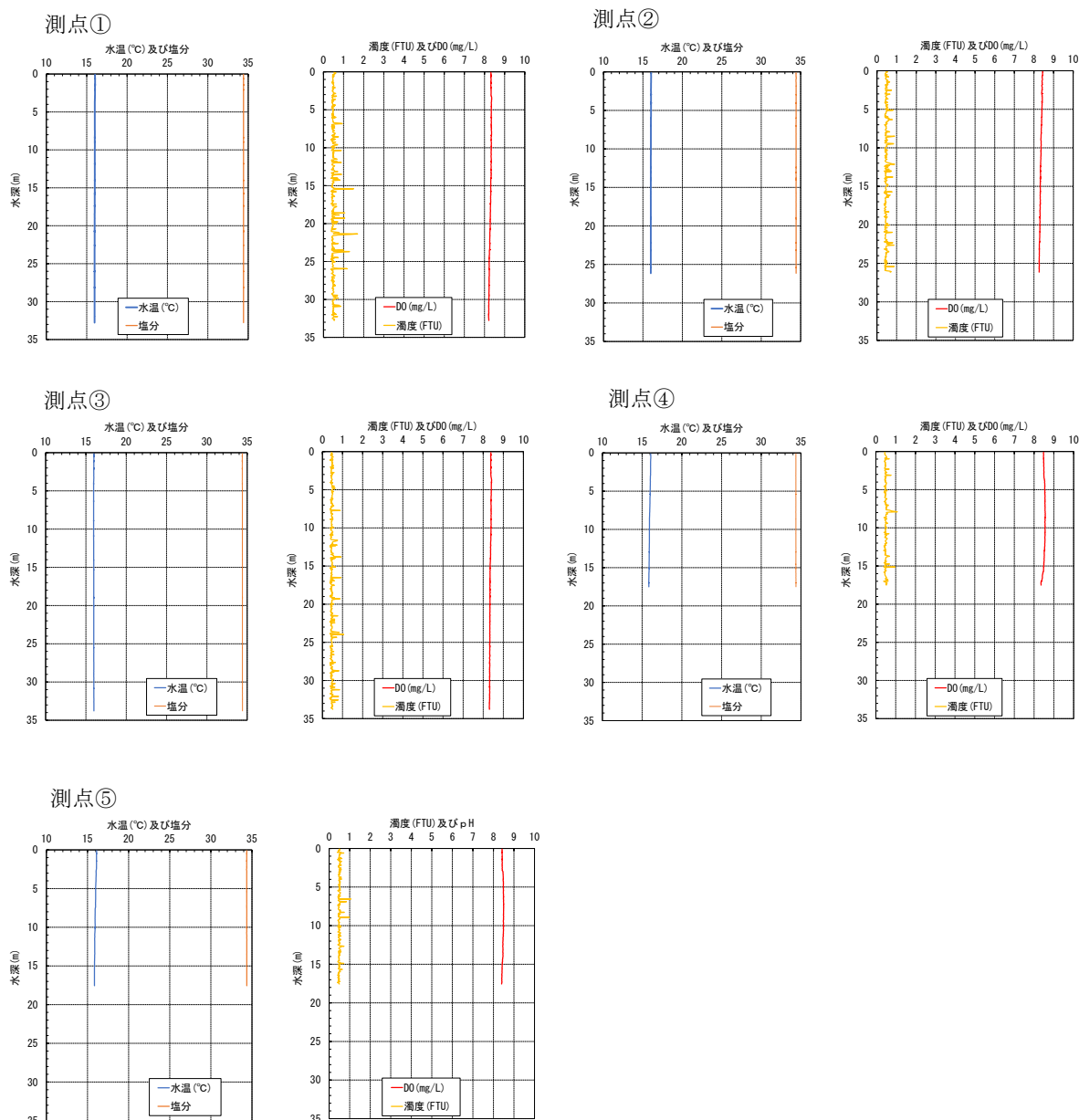


図 1-3 水質（水温、塩分、D0、濁度）の調査結果（春季）

2. 底生生物

表 2-1 底生生物の出現概要（秋季）

		測点①		測点②		測点③		測点④		測点⑤	
種類数 ()内は%	軟体動物門	0	(0.0)	8	(20.5)	3	(6.5)	6	(26.1)	6	(15.0)
	環形動物門	9	(52.9)	8	(20.5)	23	(50.0)	9	(39.1)	15	(37.5)
	節足動物門	6	(35.3)	11	(28.2)	11	(23.9)	2	(8.7)	8	(20.0)
	棘皮動物門	2	(11.8)	3	(7.7)	2	(4.3)	2	(8.7)	3	(7.5)
	その他	0	(0.0)	9	(23.1)	7	(15.2)	4	(17.4)	8	(20.0)
	合計	17	(100.0)	39	(100.0)	46	(100.0)	23	(100.0)	40	(100.0)
個体数 個体数/m ² ()内は%	軟体動物門	0	(0.0)	780	(36.4)	60	(3.0)	140	(13.2)	300	(21.7)
	環形動物門	240	(48.0)	320	(15.0)	1,220	(60.4)	820	(77.4)	400	(29.0)
	節足動物門	220	(44.0)	340	(15.9)	460	(22.8)	40	(3.8)	260	(18.8)
	棘皮動物門	40	(8.0)	500	(23.4)	60	(3.0)	40	(3.8)	140	(10.1)
	その他	0	(0.0)	200	(9.3)	220	(10.9)	20	(1.9)	280	(20.3)
	合計	500	(100.0)	2,140	(100.0)	2,020	(100.0)	1,060	(100.0)	1,380	(100.0)
主な出現種 上位5種 ()内は%	軟体動物門			スジタマエガイ	(16.8)			イボガイ属の一種	(3.8)	スジタマエガイ	(8.7)
				ホリスビサガイ	(12.1)			ムシロガイ	(1.9)		
	環形動物門	Goniadides属の一種	(12.0)	Amphitrite属の一種	(3.7)	Linopherus属の一種	(23.8)	Abarenicola属の一種	(41.5)	Scoletoma属の一種	(5.8)
		Diplocirrus属の一種	(8.0)			Sigalion属の一種	(5.9)	Linopherus属の一種	(22.6)		
						Terebellides属の一種	(4.0)				
						イレイメ	(3.0)				
	節足動物門	ニホノスカメ	(12.0)			ミキスカメ	(5.0)			サカフジツボ	(4.3)
		キバガニ	(8.0)							モバロウコエビ	(4.3)
		ホヤトガリ科	(8.0)								
	棘皮動物門			コテマリウニ	(18.7)			ヒラタフツブク	(1.9)		
				マメウニ属の一種	(13.1)						
	その他									Phoronis属の一種	(5.8)

注) 主な出現種は個体数に対する上位5種を示す。個体数が同じ場合は湿重量を優先させた。調査日：令和4年10月15日

表 2-2 底生生物の出現概要（冬季）

		測点①		測点②		測点③		測点④		測点⑤	
種類数 ()内は%	軟体動物門	3	(7.3)	7	(38.9)	4	(10.0)	1	(3.1)	1	(4.3)
	環形動物門	22	(53.7)	5	(27.8)	23	(57.5)	20	(62.5)	15	(65.2)
	節足動物門	6	(14.6)	2	(11.1)	8	(20.0)	7	(21.9)	4	(17.4)
	棘皮動物門	1	(2.4)	1	(5.6)	2	(5.0)	2	(6.3)	1	(4.3)
	その他	9	(22.0)	3	(16.7)	3	(7.5)	2	(6.3)	2	(8.7)
	合計	41	(100.0)	18	(100.0)	40	(100.0)	32	(100.0)	23	(100.0)
個体数 個体数/m ² ()内は%	軟体動物門	60	(3.2)	240	(50.0)	80	(5.0)	20	(1.1)	20	(2.5)
	環形動物門	1,160	(62.4)	100	(20.8)	1,060	(66.3)	1,420	(78.9)	360	(45.0)
	節足動物門	340	(18.3)	40	(8.3)	280	(17.5)	220	(12.2)	280	(35.0)
	棘皮動物門	20	(1.1)	20	(4.2)	80	(5.0)	40	(2.2)	80	(10.0)
	その他	280	(15.1)	80	(16.7)	100	(6.3)	100	(5.6)	60	(7.5)
	合計	1,860	(100.0)	480	(100.0)	1,600	(100.0)	1,800	(100.0)	800	(100.0)
主な出現種 上位5種 ()内は%	軟体動物門			スジタマエガイ	(20.8)						
				イマテガイ属の一種	(8.3)						
	環形動物門	Amphinome属の一種	(12.9)	オミチホコ	(4.2)	Hesiospina属の一種	(7.5)	Polycirrus属の一種	(44.4)	Eunice属の一種	(5.0)
		Langerhansia属の一種	(6.5)			Kinbergonuphis属の一種	(6.3)	Lumbrinerisamboinensis	(5.6)		
		Hesiospina属の一種	(6.5)			Chone属の一種	(6.3)	Ophelia属の一種	(4.4)		
		ナナカシオ	(5.4)			Poecilochaetus属の一種	(5.0)				
	節足動物門	キバガニ	(7.5)	サカフジツボ	(4.2)	キバガニ	(3.8)	マルコエビ属の一種	(4.4)	リタコエビ属の一種	(12.5)
										サカフジツボ	(10.0)
	棘皮動物門									ユボソコエビ属の一種	(10.0)
								リネズ科の一種	(4.4)	マメウニ属の一種	(10.0)
その他			タネムシ属の一種	(8.3)							

注) 主な出現種は個体数に対する上位5種を示す。個体数が同じ場合は湿重量を優先させた。調査日：令和5年1月22日

表 2-3 底生生物の出現概要（春季）

		測点①		測点②		測点③		測点④		測点⑤		
種類数 ()内は%	軟体動物門	17	(21.0)	15	(17.4)	12	(16.4)	3	(8.6)	17	(15.9)	
	環形動物門	38	(46.9)	31	(36.0)	31	(42.5)	25	(71.4)	53	(49.5)	
	節足動物門	15	(18.5)	23	(26.7)	13	(17.8)	4	(11.4)	17	(15.9)	
	棘皮動物門	4	(4.9)	5	(5.8)	3	(4.1)	1	(2.9)	5	(4.7)	
	その他	7	(8.6)	12	(14.0)	14	(19.2)	2	(5.7)	15	(14.0)	
	合計	81	(100.0)	86	(100.0)	73	(100.0)	35	(100.0)	107	(100.0)	
個体数 個体数/m ² ()内は%	軟体動物門	460	(12.0)	1,260	(29.2)	320	(10.0)	80	(3.2)	1,180	(21.9)	
	環形動物門	1,860	(48.7)	1,180	(27.3)	1,200	(37.5)	2,220	(88.1)	2,340	(43.3)	
	節足動物門	460	(12.0)	1,100	(25.5)	520	(16.3)	80	(3.2)	1,020	(18.9)	
	棘皮動物門	200	(5.2)	520	(12.0)	320	(10.0)	20	(0.8)	140	(2.6)	
	その他	840	(22.0)	260	(6.0)	840	(26.3)	120	(4.8)	720	(13.3)	
	合計	3,820	(100.0)	4,320	(100.0)	3,200	(100.0)	2,520	(100.0)	5,400	(100.0)	
主な出現種 上位5種 ()内は%	軟体動物門	-		タマエカ ^イ	(13.0)	-		-		イホ ^カ キ属の一種	(5.6)	
		-		ス ^シ タマエカ ^イ	(8.3)	-		-		イ ^シ カ ^イ	(5.2)	
	環形動物門	<i>Hesiospina</i> 属の一種	(7.3)	<i>Poecilochaetus</i> 属の一種	(4.6)	マク ^ス ビ ^オ	(3.1)	<i>Linopherus</i> 属の一種	(30.2)	<i>Linopherus</i> 属の一種	(4.4)	
		ニホ ^ン ケヤ ^リ ム ^シ 属の一種	(3.1)	-		-		エ ^ラ ナ ^シ ビ ^オ	(16.7)	-		
		フ ^チ カ ^サ リ ^ウ ロ ^ム シ	(2.6)	-		-		<i>Glycera</i> 属の一種	(7.1)	-		
		<i>Lygdamis</i> 属の一種	(2.6)	-		-		<i>Mediomastus</i> 属の一種	(6.3)	-		
	-		-		-		-		<i>Pista</i> 属の一種	(4.0)	-	
	節足動物門	-		カマ ^テ リ ^レ カ ^ラ	(8.8)	スナ ^カ キ ^リ コ ^エ ビ ^ノ 属	(3.1)	-		カマ ^テ リ ^レ カ ^ラ	(7.4)	
		-		-		コン ^ビ ラ ^リ コ ^エ ビ ^ノ 属	(3.1)	-		-		
	棘皮動物門	-		コ ^テ マ ^リ ウ ^ニ	(7.4)	コ ^マ ツ ^ア ウ ^ニ	(5.6)	-		-		
その他	<i>Phoronis</i> 属の一種	(15.7)	-		<i>Phoronis</i> 属の一種	(19.4)	-		テ ^ラ ホ ^ム シ属の一種	(5.2)		

注) 主な出現種は個体数に対する上位5種を示す。個体数が同じ場合は湿重量を優先させた。調査日：令和5年4月14日

3. 魚類

表 3-1 魚類の出現概要（冬季 1 回目）

項目	分類群	測点①	測点②	測点③
種類数 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	節足動物	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	棘皮動物	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)
	脊索動物	2 (66.7)	3 (75.0)	3 (100.0)
	その他	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
	合計	3 (100.0)	4 (100.0)	3 (100.0)
個体数 個体数/網 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	節足動物	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	棘皮動物	0 (0.0)	8 (72.7)	0 (0.0)
	脊索動物	2 (100.0)	3 (27.3)	4 (100.0)
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	合計	2 (100.0)	11 (100.0)	4 (100.0)
湿重量 g/網 () 内は%	軟体動物	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	節足動物	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	棘皮動物	0.0 (0.0)	1,162.5 (74.5)	0.0 (0.0)
	脊索動物	134.0 (10.4)	397.9 (25.5)	3,100.7 (100.0)
	その他	1,152.4 (89.6)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	合計	1,286.5 (100.0)	1,560.4 (100.0)	3,100.7 (100.0)
主な出現種 上位5種 () 内は%	棘皮動物		クノマクラ (72.7)	
	脊索動物	ヒラタエイ (50.0)	カサコ (9.1)	スズキ (50.0)
		マホキ (50.0)	オホホセ (9.1)	イ (25.0)
		マガイ (9.1)	オホホセ (25.0)	

注 1) 主な出現種は個体数に対する上位 5 種を示す。個体数が同じ場合は湿重量を優先させた。調査日：令和 5 年 2 月 6 日～7 日
 注 2) 令和 5 年 2 月における 1 回目は 3 測点であったが、地元漁業関係者の助言を得て、2 回目より 5 測点とした。

表 3-2 魚類の出現概要（冬季 2 回目）

項目	分類群	測点①	測点②	測点③	測点⑥	測点⑦
種類数 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	1 (9.1)
	節足動物	1 (16.7)	2 (13.3)	1 (12.5)	1 (10.0)	1 (9.1)
	棘皮動物	0 (0.0)	2 (13.3)	1 (12.5)	2 (20.0)	1 (9.1)
	脊索動物	5 (83.3)	11 (73.3)	3 (37.5)	7 (70.0)	8 (72.7)
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	合計	6 (100.0)	15 (100.0)	8 (100.0)	10 (100.0)	11 (100.0)
個体数 個体数/網 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (4.2)
	節足動物	2 (28.6)	2 (6.1)	2 (28.6)	1 (7.1)	1 (4.2)
	棘皮動物	0 (0.0)	11 (33.3)	1 (14.3)	4 (28.6)	2 (8.3)
	脊索動物	5 (71.4)	20 (60.6)	3 (42.9)	9 (64.3)	20 (83.3)
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	合計	7 (100.0)	33 (100.0)	7 (100.0)	14 (100.0)	24 (100.0)
湿重量 g/網 () 内は%	軟体動物	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	29.0 (1.3)	0.0 (0.0)	721.4 (13.9)
	節足動物	58.6 (2.7)	97.5 (1.5)	3.3 (0.1)	68.5 (1.4)	34.0 (0.7)
	棘皮動物	0.0 (0.0)	1,242.7 (18.7)	125.9 (5.8)	512.2 (10.8)	281.7 (5.4)
	脊索動物	2,138.6 (97.3)	5,306.9 (79.8)	1,793.3 (82.3)	4,155.2 (87.7)	4,164.7 (80.1)
	その他	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	226.5 (10.4)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	合計	2,197.3 (100.0)	6,647.1 (100.0)	2,177.9 (100.0)	4,735.9 (100.0)	5,201.7 (100.0)
主な出現種 上位5種 () 内は%	軟体動物		コウイ (10.0)		ササエ (10.5)	コウイ (18.2)
	棘皮動物		クノマクラ (20.0)			
	脊索動物	オホホセ (50.0)	ブリ (10.0)	オホホセ (66.7)	スズキ (42.1)	カサコ (18.2)
		マシ (25.0)	イ (10.0)	カサコ (33.3)	トチサメ (5.3)	イタダイ (9.1)
ヒガソフク (25.0)		ヒガソフク (10.0)		イタダイ (5.3)	キンハダ (9.1)	
				クマダラハギ (5.3)	オホホセ (9.1)	

注) 主な出現種は個体数に対する上位 5 種を示す。個体数が同じ場合は湿重量を優先させた。調査日：令和 5 年 2 月 17 日～18 日

表 3-3 魚類の出現概要（春季 1 回目）

項目	分類群	測点①	測点②	測点③	測点⑥	測点⑦
種類数 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	3 (27.3)	2 (25.0)
	節足動物	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (9.1)	0 (0.0)
	棘皮動物	1 (33.3)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (9.1)	1 (12.5)
	脊索動物	2 (66.7)	5 (71.4)	4 (80.0)	6 (54.5)	5 (62.5)
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	合計	3 (100.0)	7 (100.0)	5 (100.0)	11 (100.0)	8 (100.0)
個体数 個体数/網 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	3 (21.4)	3 (27.3)
	節足動物	0 (0.0)	1 (10.0)	0 (0.0)	1 (7.1)	0 (0.0)
	棘皮動物	1 (25.0)	3 (30.0)	0 (0.0)	2 (14.3)	1 (9.1)
	脊索動物	3 (75.0)	6 (60.0)	5 (83.3)	8 (57.1)	7 (63.6)
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	合計	4 (100.0)	10 (100.0)	6 (100.0)	14 (100.0)	11 (100.0)
湿重量 g/網 () 内は%	軟体動物	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	22.1 (1.5)	512.7 (15.6)	795.0 (32.4)
	節足動物	0.0 (0.0)	24.5 (0.8)	0.0 (0.0)	13.2 (0.4)	0.0 (0.0)
	棘皮動物	157.5 (14.8)	393.8 (13.3)	0.0 (0.0)	279.3 (8.5)	45.1 (1.8)
	脊索動物	904.5 (85.2)	2,546.2 (85.9)	1,500.4 (98.5)	2,491.0 (75.6)	1,610.5 (65.7)
	その他	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	合計	1,062.0 (100.0)	2,964.4 (100.0)	1,522.5 (100.0)	3,296.2 (100.0)	2,450.6 (100.0)
主な出現種 上位5種 () 内は%	軟体動物			コブナガシ (16.7)		ササエ (18.2) コウイ (9.1)
	棘皮動物	タコノマクラ (25.0)	タコノマクラ (30.0)		タコノマクラ (13.3)	
	脊索動物	ヒラタエイ (50.0)	カワキ (20.0)	ヒラタエイ (33.3)	タカノハダ (13.3)	オオコゼ (18.2)
		オオコゼ (25.0)	スズキ (10.0)	オオコゼ (16.7)	オオコゼ (13.3)	カサコ (18.2)
			ウマヅラハキ (10.0)	マダ (16.7)	ハリセンボン (6.7)	ヒカソフガ (9.1)
		カサコ (10.0)	キレシマ (16.7)	キンハダ (6.7)		

注) 主な出現種は個体数に対する上位 5 種を示す。個体数が同じ場合は湿重量を優先させた。調査日：令和 5 年 4 月 13 日～14 日

表 3-4 魚類の出現概要（春季 2 回目）

項目	分類群	測点①	測点②	測点③	測点⑥	測点⑦
種類数 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (18.2)	1 (11.1)
	節足動物	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (11.1)	1 (9.1)	1 (11.1)
	棘皮動物	2 (25.0)	2 (66.7)	0 (0.0)	1 (9.1)	2 (22.2)
	脊索動物	5 (62.5)	1 (33.3)	6 (66.7)	6 (54.5)	5 (55.6)
	その他	1 (12.5)	0 (0.0)	2 (22.2)	1 (9.1)	0 (0.0)
	合計	8 (100.0)	3 (100.0)	9 (100.0)	11 (100.0)	9 (100.0)
個体数 個体数/網 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (39.1)	4 (20.0)
	節足動物	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	1 (4.3)	1 (5.0)
	棘皮動物	2 (22.2)	2 (66.7)	0 (0.0)	6 (26.1)	6 (30.0)
	脊索動物	7 (77.8)	1 (33.3)	6 (85.7)	7 (30.4)	9 (45.0)
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	合計	9 (100.0)	3 (100.0)	7 (100.0)	23 (100.0)	20 (100.0)
湿重量 g/網 () 内は%	軟体動物	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	1,875.5 (29.2)	441.4 (17.3)
	節足動物	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	45.2 (1.9)	115.8 (1.8)	22.2 (0.9)
	棘皮動物	125.9 (7.0)	119.5 (27.8)	0.0 (0.0)	812.1 (12.7)	753.2 (29.5)
	脊索動物	1,637.0 (91.1)	310.6 (72.2)	2,135.5 (90.3)	3,553.1 (55.4)	1,339.1 (52.4)
	その他	33.9 (1.9)	0.0 (0.0)	184.6 (7.8)	62.5 (1.0)	0.0 (0.0)
	合計	1,796.8 (100.0)	430.1 (100.0)	2,365.2 (100.0)	6,419.0 (100.0)	2,555.8 (100.0)
主な出現種 上位5種 () 内は%	軟体動物				ササエ (30.4) タナシイ (8.7)	ササエ (20.0)
	棘皮動物	タコノマクラ (11.1)	タコノマクラ (33.3) アサヒト (33.3)		タコノマクラ (26.1)	タコノマクラ (20.0)
	脊索動物	ヒラタエイ (22.2)	カサコ (33.3)	テンクタイ (14.3)	カサコ (8.7)	マダ (10.0)
		マツカサコ (22.2)		シマフガ (14.3)	アサヒ (4.3)	オオコゼ (10.0)
		ウマヅラハキ (11.1)		オオコゼ (14.3)		シマウソノシタ (10.0)
オオコゼ (11.1)			ナシフガ (14.3) ヒラタエイ (14.3)			

注) 主な出現種は個体数に対する上位 5 種を示す。個体数が同じ場合は湿重量を優先させた。調査日：令和 5 年 4 月 19 日～20 日

表 3-5 魚類の出現概要（秋季 1 回目）

項目	分類群	測点①	測点②	測点③	測点⑥	測点⑦	
種類数 () 内は%	軟体動物	2 (10.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (15.4)	
	節足動物	2 (10.0)	2 (50.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	
	棘皮動物	2 (10.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	2 (15.4)	
	脊索動物	13 (65.0)	2 (50.0)	4 (80.0)	4 (80.0)	8 (61.5)	
	その他	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	合計	20 (100.0)	4 (100.0)	5 (100.0)	5 (100.0)	13 (100.0)	
個体数 個体数/網 () 内は%	軟体動物	4 (12.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (13.3)	
	節足動物	2 (6.5)	2 (28.6)	1 (20.0)	0 (0.0)	1 (6.7)	
	棘皮動物	4 (12.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	2 (13.3)	
	脊索動物	21 (67.7)	5 (71.4)	4 (80.0)	5 (83.3)	10 (66.7)	
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	合計	31 (100.0)	7 (100.0)	5 (100.0)	6 (100.0)	15 (100.0)	
湿重量 g/網 () 内は%	軟体動物	118.4 (1.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	613.8 (3.0)	
	節足動物	69.2 (0.9)	51.9 (3.8)	29.9 (4.6)	0.0 (0.0)	34.1 (0.2)	
	棘皮動物	278.3 (3.6)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	146.8 (10.9)	209.2 (1.0)	
	脊索動物	7,322.9 (94.0)	1,324.0 (96.2)	623.6 (95.4)	1,200.5 (89.1)	19,665.8 (95.8)	
	その他	4.3 (0.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	
	合計	7,793.1 (100.0)	1,375.9 (100.0)	653.5 (100.0)	1,347.3 (100.0)	20,522.9 (100.0)	
主な出現種 上位5種 () 内は%	軟体動物	コブナガニシ (9.7)					
	節足動物		ソメイダカリ (14.3) アホバシヤトカリ (14.3)	アホバシヤトカリ (20.0)			
	棘皮動物				タノマクラ (16.7)		
	脊索動物	イサ	イサ (12.9)	アホイ (42.9)	シロサハフカ (20.0)	タノハダ (33.3)	ハコフカ (13.3)
		イワ	イワ (9.7)	クロウシノタ (28.6)	タノルマコセ (20.0)	オホコセ (16.7)	イトエフキ (13.3)
タノハダ		タノハダ (6.5)		ハダシノウビラメ (20.0)	カワキ (16.7)	アホイ (6.7)	
ウマツラハキ		ウマツラハキ (6.5)		ハチ (20.0)	カサコ (16.7)	トビエ (6.7)	
					コウウダ (6.7)		

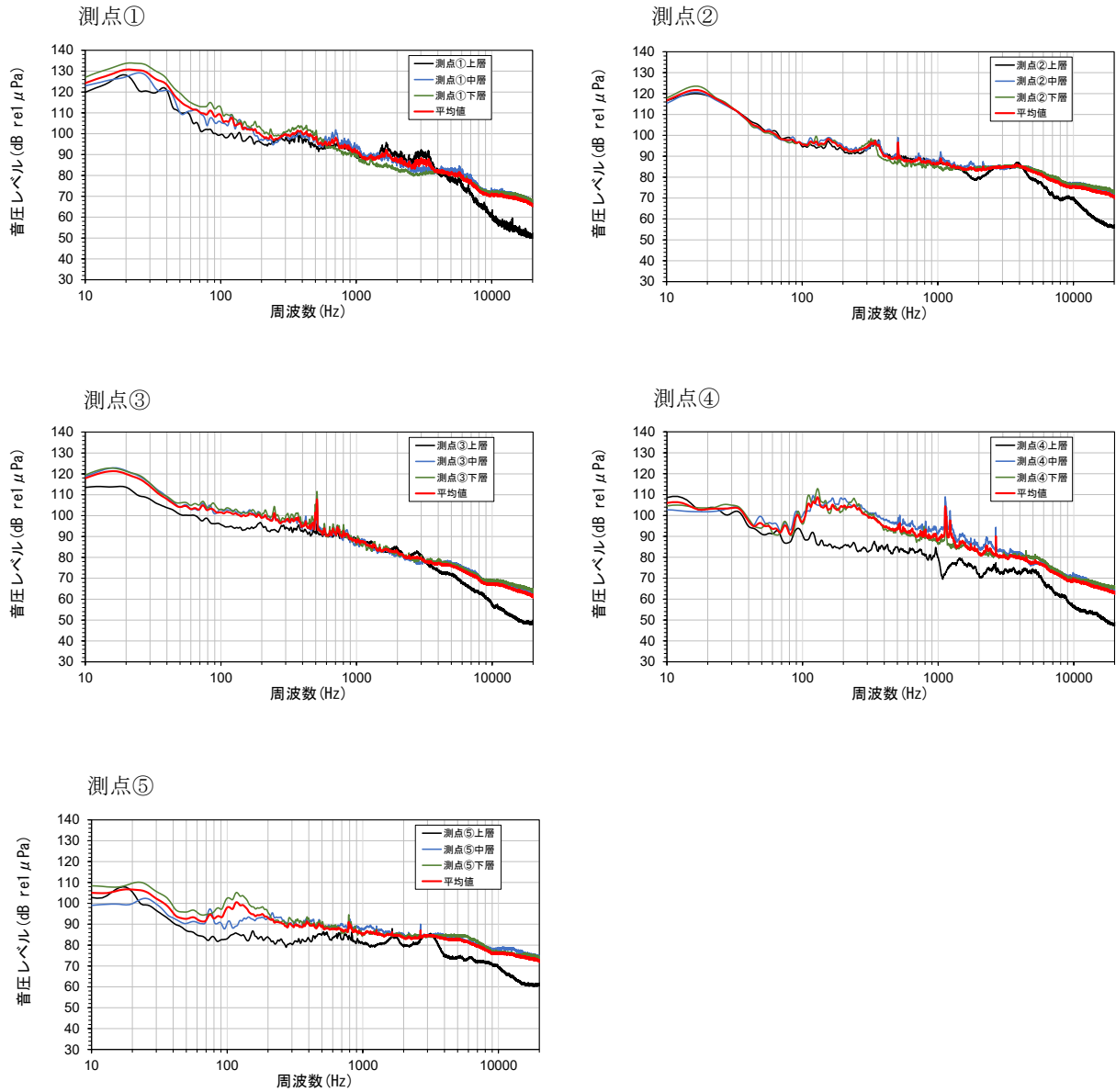
注) 主な出現種は個体数に対する上位 5 種を示す。個体数が同じ場合は湿重量を優先させた。調査日：令和 5 年 9 月 13 日～14 日

表 3-6 魚類の出現概要（秋季 2 回目）

項目	分類群	測点①	測点②	測点③	測点⑥	測点⑦	
種類数 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	1 (9.1)	
	節足動物	1 (16.7)	2 (13.3)	1 (12.5)	1 (10.0)	1 (9.1)	
	棘皮動物	0 (0.0)	2 (13.3)	1 (12.5)	2 (20.0)	1 (9.1)	
	脊索動物	5 (83.3)	11 (73.3)	3 (37.5)	7 (70.0)	8 (72.7)	
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	合計	6 (100.0)	15 (100.0)	8 (100.0)	10 (100.0)	11 (100.0)	
個体数 個体数/網 () 内は%	軟体動物	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (4.2)	
	節足動物	2 (28.6)	2 (6.1)	2 (28.6)	1 (7.1)	1 (4.2)	
	棘皮動物	0 (0.0)	11 (33.3)	1 (14.3)	4 (28.6)	2 (8.3)	
	脊索動物	5 (71.4)	20 (60.6)	3 (42.9)	9 (64.3)	20 (83.3)	
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	合計	7 (100.0)	33 (100.0)	7 (100.0)	14 (100.0)	24 (100.0)	
湿重量 g/網 () 内は%	軟体動物	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	29.0 (1.3)	0.0 (0.0)	721.4 (13.9)	
	節足動物	58.6 (2.7)	97.5 (1.5)	3.3 (0.1)	68.5 (1.4)	34.0 (0.7)	
	棘皮動物	0.0 (0.0)	1,242.7 (18.7)	125.9 (5.8)	512.2 (10.8)	281.7 (5.4)	
	脊索動物	2,138.6 (97.3)	5,306.9 (79.8)	1,793.3 (82.3)	4,155.2 (87.7)	4,164.7 (80.1)	
	その他	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	226.5 (10.4)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	
	合計	2,197.3 (100.0)	6,647.1 (100.0)	2,177.9 (100.0)	4,735.9 (100.0)	5,201.7 (100.0)	
主な出現種 上位5種 () 内は%	節足動物	アホバシヤトカリ (28.6)		キノカフジツボ (28.6)			
	棘皮動物		タノマクラ (30.3)	タノマクラ (14.3)	タノマクラ (21.4)	タノマクラ (8.3)	
	脊索動物	シロシモクサメ	シロシモクサメ (14.3)	カサコ (12.1)	ウチサメ (14.3)	キンハダ (14.3)	カサコ (25.0)
		ハダシノウビラメ	ハダシノウビラメ (14.3)	ショウイフカ (9.1)	イトエフキ (14.3)	カワキ (14.3)	ウマツラハキ (16.7)
		アホイ	アホイ (14.3)	ウマツラハキ (9.1)	オホコセ (14.3)	イサキタ (7.1)	カワキ (12.5)
マダ (14.3)		マダ (14.3)	オホコセ (6.1)		オホコセ (7.1)	キンハダ (8.3)	
		マダ (6.1)		マダ (7.1)			

注) 主な出現種は個体数に対する上位 5 種を示す。個体数が同じ場合は湿重量を優先させた。調査日：令和 5 年 9 月 18 日～19 日

4. 水中音



注) 調査日：令和4年10月12日

図 4-1 各測点における水中音の周波数特性（秋季）